



「子育てするなら燕市で」その理由は、
**のびやかな“つばめっ子”を育むために
出会いから子どもの進学・就職まで
まるごと応援する体制になっている
からです。**

5歳になる娘を持つ、自称「イクメンサッカー選手」として、積極的な子育て支援を行う燕市とともに、『子育てするなら燕市で』を全国にアピールしていきたいと思っています。
未来を担う子どもたちのためにも、一人でも多くの親が、楽しく前向きに子育てができる環境を整えることは、本当に大切なことだと思っています。さまざまな子育て支援策を通して、より良い環境を整えようとしている燕市を、私も全力でサポートしたいと思っています。

**燕市の子育て支援策を
全力でサポート**

燕市子育てサポーター

アルビレックス新潟

島田

譲



© ALBIREX NIIGATA

燕市子育てサポーターの役割



各種広報媒体への登場や SNS を活用した情報発信などで、市のライフステージに応じた切れ目のない豊富な子育て施策などを広く発信してもらいます。

4つの理由

「子育てするなら燕市で」には、4つの理由があります。燕市では、結婚、妊娠・出産、子育て、教育といったライフステージに応じた切れ目のない豊富な支援を行っています。

ワケ 01
ライフステージに合わせ、120を超える充実した制度・補助がある

ワケ 02
児童館をはじめとした個性的で、子育て目線で整備された子育て支援施設がある

ワケ 03
市内の事業所や地域がともに連携し、子育てを支える仕組みがある

ワケ 04
私塾・長善館の教えにならい、個性を伸ばしながら人間力を高める教育がある